



2016-2017年度

広島北 ロータリークラブ週報

Rotary
Club of Hiroshima North

2017年2月16日発行 Vol. 1501

国際ロータリー会長 ジョン・ジャーム 氏
国際ロータリーテーマ
ROTARY SERVING HUMANITY
人類に奉仕するロータリー

■会長 中山 昌実 ■幹事 岡部 知之
事務局 広島市南区松原町 1-5 ホテルグランヴィア広島 6F
TEL 082-506-0050 FAX 082-506-2530
E-Mail:hnrc@world.ocn.ne.jp URL http://www.hnrc.jp/
例会 毎週木曜日 12:30 ホテルグランヴィア広島

本日の例会 2017年2月16日(木) 第2303回

ロータリーソング 「われら広島北ロータリー」
来客紹介 親睦委員会
会長時間
幹事報告
委員会報告
ニコニコ箱 ニコニコ委員会
卓話時間 『2017年香りと風水で大開運』
インテリア風水師 小桜 恵子 氏

前回の例会 2017年2月9日(木) 第2302回

ロータリーソング 「われらの生業」
来客紹介 親睦委員会
連続出席表彰
会長時間
幹事報告
委員会報告
同好会報告
ニコニコ箱 ニコニコ委員会
卓話時間 『年男の弁 Part 3』
上河内裕司 会員/森 直基 会員
河村唯志 会員

連続出席表彰



左から、2年浦会員・秋山会員、41年久永会員

会長時間 会長 中山 昌実

ご来客の皆さんにはようこそお越し下さいました。時間の許す限りごゆっくりお過ごしください。
まずは、我がクラブに「米山記念奨学会寄付感謝状 第44回米山功労クラブ」が届いておりますので、報告申し上げます。
先週も申し上げましたが、今月は「平和と紛争予防・紛争解決月間」です。毎年、紛争と暴力によって数百万人が家を失い、紛争で命を

落とす人の90%が一般市民であり、その半分が子供です。ロータリーは、異文化交流を通じて相互理解の心を育て、紛争解決のスキルを備えた人材の育成を通じて平和な世界づくりを促進しています。

そこで、ロータリーでは平和に貢献するリーダーとなるべき人材「平和フェロー」を育成しております。平和フェローとして選出された者は世界各地の「ロータリー平和センター」と提携した大学において研修を受けた卒業後「NGO」や「国連機関」「政府機関」等に進路を求めます。日本では国際基督教大学が提携しております。RIの平和プログラムに私たちが関わることはあまり無いように思います。我々は広島ならではの平和について考え、行動を起こして行けば良いのではと思います。



幹事報告 幹事 岡部 知之

《ご案内》

*先日【広島14RC合同懇親ゴルフ大会】のご案内をFAXでお送りしました。回答期日は2月22日(水)です。
*2017-18年度ロータリー手帳の注文を賜ります。一部648円

ニコニコ箱 発表者：山下 江 会員

《自主出宝》

中山会員・三保会員・岡部会員・丸本会員・小林(孝)会員
上河内会員、森会員、河村会員、「年男の弁」楽しみにしています。
山本(忠)会員・中尾会員 北RCのチャーターメンバーの故・石田成夫会員のお孫さんの石田優子さんがメークアップに来てくれました。懐かしいです。森会員 年男の弁を述べさせていただきます。苦手なスピーチですが、宜しくお願い致します。
上河内会員 今年も還暦！ 年男の弁でお話をさせていただきます。よろしくお願いします。
秋山会員 この2月で入会2年目になります。引き続きロータリー活動頑張ります。
岡部会員◇ 先週ニコニコ忘れていました。①1/29の3RCゴルフコンパにて、中山会長のお蔭でブービー賞を取ることができました。
②当日の雨は私の責任ではありません。偶然です。ちなみに高知の遠征にも行く予定です。
高原会員 昨日、病院での健康診断を受けました。これからは健康で快適な毎を送りたいと思っています。

《職業ニコニコ》

山下江会員 2月18日(土)に開催される「起業家・投資家・専門家お見合い交流会」のご案内です。今回は広島大学発のベンチャー企業、ベンチャーの卵(学生)計7名が発表します。基調講演はひざの軟骨の再生医療を開発した㈱ツール代表取締役社長 辻紘一郎さんです。興味のある方は是非参加を！
吉永会員 先週から本郷にある東洋製罐という工場にある5トンのエレベータと格闘しています。マンションなどに設置されている規格型エレベータの10倍の大きさでエレベータ歴27年の私も知恵を絞りだして施工していますがなかなか思うようにいきません。ですが、久しぶりにワクワクしています。

当日計 14,000円 累計 1,251,000円

★=10,000円 ☆=5,000円 ◆=3,000円 ◇=2,000円

卓話時間

『年男の弁 Part3』



上河内 裕司 会員

(S32年4月生まれ)

西年の今年が年男、さらにこの四月には還暦、ということで、お話をさせていただきます。

11年前2006年4月6日に、もう退会されていますが、空さん、

三宅徹也さんに推薦を頂き、広島北RCに入会させていただきました。

入会した当初は、適当に出席して、適当にロータリー活動をしてあげばいいかなぐらいで、他の会員の年男の弁を聞きながら、自分私の番がくることはないし、私が年男として話をするのが早いか、退会するのが早いか、そんな感じでした。

11年が経ち、こんな私が幹事までやってしまったという、これまでの私のロータリー活動の歴史の中で、私に降りかかった事件、降りかけた事件の話をして年男の弁とさせていただきます。

まず、一つ目の事件

1. 「あの上河内は誰や事件」

坪内さんがロータリー家族親睦委員長で私が副委員長のときでした、最近入会の皆さまはご存じないと思いますが、このころは親睦委員会ではなく、ロータリー家族親睦委員会と呼ばれていました。先日、新年会を行った「う越久」で、その年は、お月見例会を行いました。出し物は雅楽「蘭陵王」、厳島神社で奉納されている舞楽の陵王の舞を舞っていただきました。その時、皆さんには内緒にするという条件で、私の家内が笙の演奏で出ていました。演奏が終わり、予定にはない演奏者紹介で「上河内」という名前を紹介されてしまいました、そのとたん「あの上河内は誰じゃ」ということで、会場がザワザワしてきました。実際、私の家内は、お見せするほどのものではないので、それまで非公開にしておりました。「ありゃ親戚か」「嫁さんか」「娘か」「そりゃないじゃろ」、というように皆さん好き勝手なことを言っていました、とうとう面がわれてしまい、偽名を使えばよかったと思ったのも後の祭りでした、という事件でした。

2. 「上河内さんお願いしますよ事件」

これも、坪内さんがロータリー家族親睦委員長のときでした。この委員会は年間を通じて事業を行います、坪内さんは次年度幹事を引き受けていましたので、本当に忙しくて大変だったのだと思います。いまでは私もよくわかりますが、その時期は何でもかんでも委員会の仕事を私に振ってくるので、「えっ、私がやるの」とか言って、逆らったところ、「上河内さんお願いしますよ」と泣きそう

な顔をして真剣に言われ、坪内さんのこんな顔を見たことなかったので、あわてて、「冗談、冗談」と言って、その振られた仕事を素直にやったという事件でした。

しかし、次年度副幹事まで振ってくるとは思いませんでした。

それと幹事を受ける前の年度は楽な委員会に配属しましょう！

3. 「新会員出し物拒否事件」

これも坪内ロータリー家族親睦委員長のときで、その日は、最終例会で行う新会員の出し物についての話をする為に、親睦を兼ねて委員会を行いました。

委員会が終わり懇親会に移ろうとしたその時、ある新会員が、「こんなくだらない出し物なんか私はしません」と反乱を起こそうとしました、しかし、委員会メンバーが寄ってたかって、その新会員をつるしあげたのでした。

このときの委員会は、これまで経験した中で一番結束が固くなった委員会だったという事件でした。

4. 「おい！なんでわしの名前が載ってないや事件」

この事件は、私が社会奉仕委員長で、本通交番にAEDを寄贈する事業を行った時に起きました。

本通交番にAEDを設置して、新聞記者に取材に来ていただきました、そこで、その年度の石田会長が色々記者に質問され丁寧に答えておられました。

私は、何も記者からは質問されていませんでしたが、この事業が明日の新聞に載ることが嬉しくて、どんな記事になるんだろうと、楽しみにしていました。

そして、次の日新聞を見ると、なんと「広島北RC 社会奉仕委員長 上河内裕司さん、本通交番にAED寄贈」

どこを読んでも会長 石田平二という文字は見当たりませんでした。あんなに一生懸命質問に答えていたのに・・・

案の定、次の例会の日、「おい上河内！なんでわしの名前は載ってないや！」「私は何もしてませんよ」、と答えることしかできなかったという事件でした。

5. 「やってしまった事件」

また出てきましたが、坪内SAA長で私が副SAAのときでした。その年度は、例会の最後に、SAAの方から何かあれば、一言

いうことになっていました。たまたま、その日の例会で、携帯が卓話中に鳴っていましたので、SAAからの注意として、「次回の例会では、携帯の音を絶対に鳴らさないように」と私は真剣な顔をして、強くお願いをしました。ところが、なんと次の例会時に不覚にも私の携帯の音が鳴ってしまいました、しかも外部卓話の時でした。私はあわてて止めましたが、本当に長い時間鳴らしたように感じました。

「あーやってしまった、最悪じゃ」と思い、次回の例会でニコニコに出宝して、謝ろう、ついでに連帯責任でSAA長にも出してもらうと、坪内さんに話をする、「えっ、いつ鳴ったの」という返事、「あれ、皆にも聞こえてなかったのかな」とも思いましたが、私の気持ちの中では、本当に広島北RCを退会しなければならないように思う程の事件でした。

6. 「なんで私が事件」

ある例会の日、山下正司さんが私に近づいてきて、

『上河内、話があるんじゃないけど』『なんですか？』

『いずれ、言わんといけんけ～言うけど』

『聞きたくないですけど』

『あの、わしはもうちょっとしたら、入院して手術するんよ』

『どこが悪いんですか？』『胃が悪いんよ』

『そりゃ大変ですね』

『そうなんよ、じゃけ、わしの幹事やってくれんかね』

「は～、意味がよくわからないんですけど。じゃ、手術して元気になって帰ってきたら、やってもいいですよ」

と答えてしまいました。

そのあと、山下さんはめちゃくちゃ元気になって帰ってこれ、後は皆さんがご存じの通りです。

それから、ちょっとたつて、「山下さん、なんで私が幹事なんですか？」ときくと、「あなたはグラウンダーから会社が近いし、いつも例会に来てるから」という返事でした、ありゃ！優秀だから私かと思った！という残念な事件でした。

このように色々事件がありました、すばらしい先輩に導かれて、今のまじめな私が出来あがりました。

これからは、還暦にもなりますので、少し不良になってローター活動を楽しまたいと思います。以上で年男の弁を終わります。



森 直基 会員
(S44年5月生まれ)

こんにちは、新しい年が明けて、もう二月も半ばです。年男の弁も今まで何名かの方が話されたので重複するような話もあるかもしれませんが、順番ですの

で宜しくお願い致します。

私は、今年の5月で48歳となりますので、4回目の年男となります。今まで年男と言うものを余り意識したことは無かったです。前回の年男が平成17年です。あらためて振り返りますと、仕事もプライベートも非常に変化のあった12年間です。この12年を振り返り、そしてこれからの抱負を述べさせていただきます。

12年前の大きな出来事と言えば、中部国際(セントレア)空港の開港や多くの犠牲者が出た福知山線の脱線事故などがあります。ついこの間のことのように思いますが、もう12年が経過しています。12年前の私は千葉県の成田市に赴任しておりました、ちょうど今の職位である営業部長を拝命した年です。それまでは、多くても50名程度の営業社員とスタッフを抱える身から、100名を超える規模の組織を担当させていただくようになり、仕事も大きく変わっていきました。

また、世の中全体の流れも大きく変化した12年のような気がします。特に消費者保護・労働者保護や権利意識の高まりを背景とするコンプライアンス推進の流れは一気に加速したように思います。大きな事件では船場吉兆の食品偽装を発端として、食品メーカーの内部告発が続きました。我々の業界でも保険金の未払い問題により、業務停止や業務改善命令が多くの会社に発令されました。社内でもハラスメントやサービス残業を始めとする労働に対する意識の変化で仕事の仕方も大きく変わりました。

プライベートでは、比較的金銭の余裕も出来てきたこともあり、お付き合いの幅を大きく広がっていったように思います。また、家族の大病や母親の介護の問題も継続中で、年をとってきていると言いますか、そのような年齢になってきていることを痛感した12年間でした。自分自身もまだまだ元気とと思っていましたが、若いのは気持ちだけで、ちょっと動いただけで肉離れを起こしたり、健康診断の数値も確実に悪化傾向にあります。若い頃、職場の先輩によく言われていた「45歳位から急激に衰えをかんじる」という言葉を実感しております。

住まいは、12年間で成田から横浜、横浜から大阪、大阪から岡山を経て、念願の地元広島に27年ぶりに3年前に帰ってくる事が出来ました。地元での生活はやはり楽しく、日々が充実しております。そして、何よりこの伝統と格式のある広島北RCに入会させていただいたことは、私にとって大きな財産となりました。最初は戸惑うことも多かったのですが、厳しくも温かくご指導頂き、今までの考え方や価値観が大きく変わったように思います。今後も引き続き、ご指導ご鞭撻賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

最後に今年の初詣でおみくじを引いた際に大吉で幸先いいなと

思っていましたら、干支占いでは、年男にもかかわらず非常に厳しいことが書いてあったので、自分への戒めとして、披露して終わりたいと思います。飽きやすく、中途半端に終わったり、すぐに移り気になるので忍耐が必要。最後まで探求し、継続し続けることが運氣向上の鍵だそうですので、心して参りたいと思います。ご清聴有難うございました。



河村 唯志 会員
(S44年1月生まれ)

みなさん、こんにちは。河村です。

私、1969年(昭和44年)生まれで、本年1月で48歳になりました。こう見えてまだ48歳なの

ですが、ある人からは、還暦じゃないのと言われるくらい老け顔です。

本年で4回目の年男を迎えましたが、今までを振り返り少しお話ししたいと思います。

・12歳の時～小学校6年生、当時、少年野球に明け暮れておりました。夏に野球が終わりすると、ミニバスケットチームが発足しまして、野球部員の半数がバスケットチームに動員されました。私もその一人で、いきなり県大会で3位になったのには自分事ながら驚きました。

・24歳の時～社会人2年目で、大阪支店に勤務しておりました。当時の担当業務は外国為替でお客さまの輸出入に関する貿易のお手伝いをさせていただいておりました。お客さまの中には、関西弁を流暢に操るインド人等個性的な方が多かったです。そして、この2年後に阪神淡路大震災を経験しました。

・36歳の時～当時、福岡支店に単身赴任しておりました。当時は、不動産市場が活況で、マンションの建設ラッシュでした。この年、玄界灘地震に見舞われました。

・そして今、4回目の年男になった訳ですが、現在、広島でみなさまがたとお会いすることができ、私の人の輪もひろがり至極光榮に思っております。

次の60歳の年男に向かって...

60歳と言えば、退職等一つの区切りとなります。おそらく、ここで第2の人生も決まり、地元である山口県防府市の地で暮らしていることと思いますが、何はともあれ、健康で元気でさえあればと切に思います。

また、今からの私の役目としては...

・後進の育成～私自身今まで培った経験を後輩に伝承し、幅広く社会に貢献しうる人材を育てていきたいと思っております。

・さらに、今までないがしろにしてきた家族に対しても、今までの感謝とこれからもよろしく、と言った想いをカタチにしていきたいと思っております。

・最後に、今一つは、広島北のローターアンとして、諸先輩方のこれまで築いてこられた格式高い歴史・伝統に恥じぬよう“奉仕の心”をモットーに様々なことに尽力して参りたいと思っております。

引続きご指導・ご鞭撻の程、何卒宜しくお願い申し上げます。

■出席報告 出席委員会

2017年2月9日(木) 会員数 93名
出席 76名 欠席 17名
1月25日例会 修正後出席率 100%
1月度平均出席率 100%

■来客紹介 親睦委員会

石田 優子 様(広島)
藤村 欣吾 様(広島中央)

■次回例会 2017年2月23日(木) 12:30～

卓話 ①皮膚の良性腫瘍、悪性腫瘍 水野 勝会員
②がんと生活習慣病 高原 宏之会員